

2010年に発足した新 e-Learning センターも、早いもので6年半が過ぎました。昨年秋より、初代赤羽貞幸センター長に代わって平野吉直センター長を迎え、新たなスタートを切りました。更に充実したサポートとサービスを提供できるように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

裏面には、大学 e ラーニング協議会フォーラム 2015 の案内がありますので、ぜひご覧ください。

contents

e-Learning center Newsletter No.20

■ 新センター長あいさつ

「教育の質の向上」を目指して

■ eALPS バージョンアップ情報⑥

■ infomation

大学 e ラーニング協議会フォーラム 2015 開催のお知らせ

新センター長あいさつ

「教育の質の向上」を目指して

e-Learning センターは当初、信州大学における e-Learning などの情報通信技術を利用した教育の実施に必要な支援を行うセンターとして、2007年4月から2年間の時限付で発足しました。この間の活動内容は、教育用機材の作成・開発を行う教員への支援、教育支援システムの管理運用・開発、教育改善の啓発・支援・学習者に対する支援などを行ってきました。2008年度からは、全学的な教育基盤システムとしての「eALPS」の構築と安定運用を図ってきました。2013年度からは、さらに安定的な運用を目指し、総合情報センターにもご協力いただき、eALPS システムのクラウド化を実現いたしました。これからは、これまでの活動を土台として、「教育の質の向上」のため ICT の多面的な利用を支援し、教育効果の記録と時間外学習の可視化を図っていく必要があります。

eALPS の利用による効果は、授業時間外の学習状況が把握でき、教育プロセスの記録による学習過程の把握ができることです。これによって学生の学習状況の可視化が可能となります。可視化が可能となると、教室外での学習時間の確保など、「単位制度の実質化」のための基礎データの収集や分析ができ、教学 IR の実践にもつながります。

組織的には、これまでどおり研究開発運用部門と ICT 活用支援部門の2部門を組織し、教職員・学生・授業ごとにあつた教育支援システムの整備と ICT 活用教育の提案およびそれらの支援を行ってまいります。研究開発運用部門では、開発運用チームとヘルプデスクチームが、利用方法の問い合わせへの対応、教育基盤システムの運用、システムの開発に当たります。ICT 活用支援部門では、メディアコーディネータが ICT を活用した教育方法の提案、教育システムの調査研究、活用支援、教材開発などに当たります。

これらの業務を統括するセンターの副センター長には、教育工学が専門の東原義訓教授（教育学部）、研究開発運用部門長には矢部正之教授（高等教育研究センター）、ICT 活用支援部門長には谷塚光典准教授（教育学部）に就任いただいています。各部門の実務を担当される職員の方々の仕事場は、松本キャンパス、長野（教育）キャンパスと離れますが、部門長との連携を密にして業務に当たっていただいております。



平野 吉直（ひらの よしなお）
理事・副学長 e-Learning センター長

e-Learning センターでは、昨年度に引き続き、信州大学における ICT 活用教育の実施に必要な支援を続けてまいります。また、信州大学の教育研究を一層活性化させるため「高等教育研究センター」や「総合情報センター」「高等教育コンソーシアム信州」と連携・協働し、「教育の質の向上」への対応を目指した ICT 活用教育の支援を行い、中期計画の達成に大きく寄与することを目指してまいります。全学の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

e-Learning センター長
平野 吉直



赤羽センター長、長い間ありがとうございました。

eALPS バージョンアップ情報 ⑥

このコーナーでは、eALPS バージョンアップに伴う新機能をご紹介します。

【スケジュール】機能で、学生面談等の予約が eALPS 上で行えるようになりました

スケジュールは、教員が日時・場所・対応教員等を指定したタイムスロットを作成し、学生が希望するスロットを選ぶことでスケジュール調整を行う機能です。予約状況の確認や未選択の学生の管理、面談の記録なども行えます。

【教員によるスケジュールの作成とタイムスロットの追加】

編集モードの開始を行い、活動またはリソースを追加するからスケジュールを選びます。必要な項目を入力して保存するとスケジュールが作成されます。(右)

コースのトップ画面に戻り、作成したスケジュール(例では「面談予約」)をクリックし、Add slots でタイムスロットを作ります。(下)

スケジュール

- 学生対応する人の名称(デフォルト:教師)
- 1人の学生が入られる予約数
- 直前の予約・キャンセルができないように設定
- 開始時刻
- 1回の面談にかかる時間
- 1つのスロットで面談可能な学生数
- 場所
- 対応者

面談予約 スロット Add slots

あなたはいつでも面談予約スロットを追加することができます。

日付	開始	終了	学生
2015年 08月 3日(月曜日)	14:40	15:00	1

【Add repeated slots】を使って効率的に作成することも可能

【学生による予約】

スケジュール(例では「面談予約」)をクリックし、スロットを選んで私の選択を保存するをクリックします。キャンセルもできます。

学生画面

日付	開始	終了	ロケーション	コメント	選択	SV	グループセッション
2015年 08月 10日(月曜日)	10:00	10:20	実習センター-103		<input type="radio"/>	新規	(限) 3(3)
	10:30	10:50	実習センター-103		<input checked="" type="radio"/>	新規	(限) 3(3)
2015年 08月 11日(火曜日)	10:00	10:20	実習センター-103		<input type="radio"/>	新規	(限) 3(3)
	10:30	10:50	実習センター-103		<input type="radio"/>	新規	(限) 3(3)

【教員による予約状況の確認・管理】

教員は、予約の状況を確認したり、予約していない学生にメールを送ることができます。また、予約に基づいて行った作業(面談など)の記録を残しておくこともできます。

教員画面

予約状況を Excel でダウンロードも可能



大学 e ラーニング協議会フォーラム 2015 開催のお知らせ

大学 e ラーニング協議会では、e ラーニングを先導的に推進している大学が集まり、知識交流や利用実践のノウハウを共有する取組みを行っています。年 1 回行われるフォーラムが、今年度は本学で開催されます。安西祐一郎先生から直接お話を伺うことができる絶好のチャンスです。ぜひご参加ください。

テーマ： 高大接続を見据えた ICT 活用

日時： 2016 年 3 月 17 日 (木) 12:00 - 17:15 会場： 長野 (教育) キャンパス 東校舎

【主なプログラム】 12:00 - 17:15 企業展示

14:00 - 15:00 基調講演「高大接続改革の展望と ICT の活用—未来に生きる子どもたちのために」
講師： 安西 祐一郎 氏 (独立行政法人日本学術振興会理事長)

15:00 - 15:30 招待実践報告 「高等学校での ICT を活用した遠隔授業の試み」

15:45 - 17:15 ポスターセッション (大学 e ラーニング協議会成果発表)

* 参加ご希望の方は、事前にメールで e-Learning センターまでご連絡ください。